



赤ちゃん登場!



ギャラリー

いさぎよく活用
に鑑を公開



「なつやすみのおもいで」
日幼稚園 5歳児
みつ い あらた
三ツ井 新くん
パパとママと妹と花火をしたよ。線香花火がきらきらしてきれいだったよ！夏休みに3回も遊んでとても楽しかったよ！



「海の中に入ったら」
平成小学校 3年
たけ い おう た
武井 桜太くん
水彩絵の具の「ぼかし」を利用して、海の中の様子を生き生きと表現できました。海の生き物との楽しいおしゃべりが聞こえてきそうです。

こんにちは!

少女マンガをうまく描くコツ 教えます

「マンガに興味のある子どもたちがうまく描けるようお手伝いしたい」と話すのは、12月から始まるまなびの教室で「少女マンガの描き方」の講師となった大畑久美子さん。小中学生を対象に、手の動きや服の細かい部分など、描きたくてもなかなか描くことが難しい絵の簡単な描き方を教え、アドバイスしたいと意気込みます。

小学生の時にマンガに興味を持ち始めた大畑さん。いくえみ綾さんのマンガ



大畑久美子さん(一ツ木町)

がきっかけで本格的に描き始め、中学3年生の時に初めて出版社に投稿したそうです。その後は絵について学ぶため美術系の高校へ通いながら投稿を続けました。その結果、高校3年生の時に出版社から声がかかり、マンガ業界へ足を踏み入れました。得意な絵は少し崩した感じのギャグ絵。「話を考えることよりも絵を描くことの方が好き」と話します。読み切りとして掲載されただけでなく、アシスタントとしても4年ほど働き、技術を磨きました。

現在は2児の母。マンガ業界からは離れましたが、「子どもと一緒に絵を描くことが楽しく、アドバイスをすることで子どもの絵が上手になることが嬉しい」と笑



顔で話します。そんな楽しそうな姿を見た旦那さんからの後押しもあり講師に応募しましたが、誰かに教えた経験がなくとても緊張している様子。しかし、「受講してくれる子どもたちとも一緒にお絵描きをしているような気持ちで楽しく教えたい」と目標を持ち、講師に初挑戦します。

まなびの教室では、大畑さんの「少女マンガの描き方」をはじめ、6教室が開催されます。詳しくはP9へ。